

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
平成30年(2018年)
9月6日
発行責任: 校長 石井武

★台風21号による甚大な被害・・・

みんなの力でこの試練を乗り越えよう!

9月4日(火)早朝より大阪府全域に大雨・暴風警報が発令され、すべての学校は臨時休校となりました。台風21号は非常に強い勢力を保ったまま、4日12時頃徳島県南部に、14時頃神戸市付近に上陸しました。豊中市においても14時頃から今まで経験したことのないようなすさまじい強風が吹きあふれ、多くの建物や電柱、車などに大きな被害を与え、公共交通機関や電気、ガス、水道などのライフラインがストップする事態となり、大阪では102万軒が停電するという大変な災害に私たちは直面しました。

私は一番荒れた時間帯に校長室・職員室にいましたが、五中全体が吹き飛ばされるのではないかとという異常な恐怖感に襲われるとともに、14時半頃から学校は完全に停電となったので、電話、パソコン、エアコン、テレビなどが使用できず、まさしく「陸の孤島」状態でした。おそらく皆さんもそれぞれの家庭において、同じような恐怖感を抱いたのではないのでしょうか。

風速40mを越す強風の猛威は、2階テラスや中庭、正門前の樹木、正門から北門への市民のための遊歩道など、いたるところにその爪あとを残したため、全教職員で清掃や片付け、復旧作業を行ないました。

停電状況は5日(水)になっても解消されず、この暑さの中でエアコンなしでの授業実施は困難と判断し、午前7時に臨時休校を一斉メールで連絡しました。皆さんの家庭でも停電のためにご飯が炊けなかったり、暑さを我慢するしんどさが続いたりしているところも多いと思います。幸いにして五中は午前8時半頃、電気が復旧したため6日(木)からの授業再開を決定しました。

3年生にとっては、今日は「チャレンジテスト」、明日は「第2回実力テスト」と2日連続で1日5時間のテストを受験するという、大きな試練に立ち向かうことになりました。大変厳しい状況のもとですが、65期生なら必ず乗り越えてくれると信じています。

しんどいときに支えあえるのは「仲間」です! 力になれるのは「先生方」です! みんなの居場所は「五中」です!

ともにしんどさを共有し、ともに立ち向かっていくために、生徒のみなさんと教職員がスクラムを組んで、みんなの力でこの試練を乗り越えていきましょう!



★いじめ・非行防止標語！



夏休みの宿題として生徒全員に考えてもらった標語を、各クラス1つずつ選んでもらいました。募集テーマは、①喫煙、夜遊び、万引きなどの非行防止 ②携帯電話、スマホ、インターネットによる問題防止 ③いじめ、友人関係での問題防止のいずれかから選ぶこととなっています。どの作品も現代の課題を浮き彫りにして、強いメッセージを伝えてくれています。みなさんの心に響くのはどの標語でしょうか？これらの10作品を五中として豊中市教育委員会に提出していく予定です。

年 組	名前	標 語
1 1	やまくち はやと 山口 隼人	苦しいと 相手は知らない その気持ち
1 2	まきた まりあ 時田 茉莉愛	みつめよう スマホじゃなくて みんなの心
1 3	しらいし まなつ 白石 真夏	「やめようよ」 その一言が 救いの手
2 1	なかそね みなみ 仲宗根 美波	万引きは 誰の幸せも 盗めない
2 2	わかさ めいみ 若狭 明海	その一本 まわりの命 削ってく
2 3	かない あやか 金井 彩夏	見ないフリ 軽い行動 重い罪
2 4	くらもと るな 倉本 瑠菜	見えるかな 心の傷が 君の目に
3 1	さづか ことみ 佐塚 こと美	スマートフォン まちがい一つで 変わる未来
3 2	まつだ りん 松田 凛	ありがとう 伝えることが 大事だよ
3 3	とくとめ なな 徳留 奈々	ながら携帯 知らない間に私 病院にいる



★保護者のみなさまへ



台風21号により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。現在、様々なお困り等があると思います。学校が力になれることもあるかもしれませんが、遠慮なくご相談ください。また、地震や台風など大きな自然災害により、子どもたちは健康面や精神面に色々な負担（ストレス）を感じる場合があります。

学校では、すべての生徒を対象として「こころのアンケート」を実施し、ていねいに子どもに寄り添っていきたく思います。表面上は元気に見えるように見えても、心の中はちがうことがあります。裏面の「こころのケアについて（保護者向け）」の資料は、本市教育委員会が作成し「学校だより6/22号」でも紹介しましたが、再度ご参考にしてください。

まだまだ厳しい状況が続くと思いますが、日常の基本的な生活を大切にすること、子どものメッセージを受け止めてあげることが一番のポイントです。子どものことで気になることがあれば、学校にご相談ください。

また、本校のスクールカウンセラーの活用など、必要に応じてご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。



こころのケアについて（保護者向け）

* 普段と違う様子が見られてもあわてないで

大変な出来事の後、普段と違う様子になるのは自然なことです。

事態に対処しようとする反応と受け止めましょう。

周りの大人があわてず、落ち着いて接することが大切です。

* 大変な出来事などの後、こんなことがよく起こります

落ち着きがなくなる

ボーっとする

赤ちゃんがえりする

イライラする

やる気がでない

ベタベタしてくる・甘えてくる

怒りっぽくなる

何も手につかない



こわい夢をみる
おねしょをする



一人でいるのをこわがる
事件や事故のあった場所に近づけない



自分や家族が死なないか
不安がる



その他：からだの不調をうったえる（頭痛・腹痛・発熱・めまい・吐き気など）



* 日常の基本的な生活を大切に

「日常の生活」は子どもの安心のもと。

食事や睡眠をいつも通りに、などを意識しましょう。

* メッセージを受け止めて

子どもの状態はそのまま、子どもからのメッセージです。

話をしてきたら聞く、話したがるならそっとしておく。

体がつらいなら体のケアをする…、これらすべてがこころのケアになります。

☆気になることがあれば、学校にご相談ください。

また、子どもへの関わり方がわからない時は、電話でも相談できます。

◆（大阪府）すこやか教育相談（さわやかホットライン）06-6607-7362

◆（豊中市）教育相談総合窓口 電話相談 06-6840-8121

☆各中学校にスクールカウンセラーが週1回派遣されていますので、ご活用ください。

スクールカウンセラー活用をご希望の方は、各クラス担任へまずお知らせください。

☆予約による来所相談もできます。

◆豊中市教育委員会事務局児童生徒課 教育相談係 06-6844-5231（要予約）

☆普段と違う様子（症状）が1か月以上長引く場合は専門機関へご相談ください。